

4 温室効果ガスの排出の状況

基準年度（令和6年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		3,988	t-CO <sub>2</sub>
① （温を除く 二室除 酸効く 化果 炭ガ 素換 排 算 量）	②非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO <sub>2</sub>
	③メタン		t-CO <sub>2</sub>
	④一酸化二窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑤ハイドロフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑥パーフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑦六ふっ化硫黄		t-CO <sub>2</sub>
	⑧三ふっ化窒素		t-CO <sub>2</sub>
	温室効果ガス総排出量（①～⑧合計）		3,988

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項目	基準年度 令和6年度 排出量（実績）		目標年度 令和9年度		目標削減率
			目標排出量		
温室効果ガス 総排出量		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>	%

項目	基準年度 令和6年度 排出量（実績）		目標年度 令和9年度		目標削減率
			目標排出量		
原単位当たりの 排出量	0.2856	t-CO <sub>2</sub> / 件	0.2513	t-CO <sub>2</sub> / 件	12.0 %

（2）目標設定の考え方

本施設について令和7年4月～令和10年5月まで運用体制変更による火葬件数の増加とエネルギー消費量の増加が見込まれている。段階的に試行した令和6年度を参考とすると運用体制変更により9%削減が見込まれているため、そこに毎年1%を上乗せした12%を目標とする。

- 備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
- 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
- 備考3 原単位当たりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量当たりの温室効果ガス排出量をいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制等に係る措置

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調機停止</li> <li>・無料休憩所、喫茶のロールスクリーン及び有料休憩室のカーテンの閉止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用しない棟の空調機停止、適切な温度管理によるこまめな空調発停操作の実現</li> <li>・ロールスクリーン、カーテンを利用時間外は閉止する事によって空調負荷の低減を図る。</li> </ul>	省エネ及び温室効果ガス総排出量削減達成を目標とする。
冷暖房機器の電力、ガス使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用終了時間を考慮して空冷チラー、冷温水発生機を早めに停止させ余熱を利用する事によりロス低減を図る。</li> <li>・タイマー活用による消し忘れの防止</li> </ul>	省エネ及び温室効果ガス総排出量削減達成を目標とする。
照明器具の間引きをして電力量削減を実施	1階炉機械室やファンルーム室や事務室で、作業に支障のないような場所の蛍光灯の間引きを実施。	省エネ及び温室効果ガス総排出量削減達成を目標とする。
大便器便座の温度設定を下げる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大便器便座及び温水の温度設定を季節に応じ変更する。</li> <li>・便座に蓋のあるものは、蓋を閉めるように利用者へ促す。</li> </ul>	省エネ及び温室効果ガス総排出量削減達成を目標とする。
自動車等輸送機関に関する対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急発進、急加速を控えエコドライブを推進する。</li> <li>・電気自動車を導入済み。</li> </ul>	温室効果ガス総排出量削減を目標とする。

指針第1号様式

(2) 非化石エネルギーへの転換に関する措置

ア 非化石電気に関する目標

指標	目標 (2030年度)
使用電気全体に占める 非化石電気の比率	27.3 %

イ 計画期間における非化石エネルギーの利用

中部電力からの購入した電力の非化石エネルギー分(16%)  
太陽光発電設備による発電(令和6年度発電量18927kwh)

(3) 環境価値(クレジット等)の活用

--

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置

- 1、廃棄物の排出抑制 ・再生紙の利用、両面印刷の利用推進 ・ごみの持ち帰り活動推進  
・資源化ごみの分別周知徹底 ・水分含有ごみの乾燥後の廃棄
- 2、森林保全・緑化の推進 屋上壁面緑化の保全維持 ・場内外植栽帯の保全維持
- 3、環境教育 ・名古屋市主催の環境セミナーの積極的参加及び各員へ内容周知

(5) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組

- 1、定時退社に勤める。
- 2、利用していないOA機器のこまめな電源OFF操作